

焼津市総合評価競争入札の試行方法
(改正版)

焼 津 市

平成24年11月

1 総合評価競争入札の概要

(1) 総合評価競争入札とは

価格のみの競争でなく、価格と価格以外の要素（競争参加者の技術的能力、品質の向上に係る技術提案）を総合的に評価し、技術と価格の両面からみて最も優れた案を提示した者を落札者とする方式。必ずしも最も安い価格の入札者が落札者となるとは限らず、価格以外の要素に対してより評価の高い提案を行った者が落札者となることも有りうる。

(2) 総合評価競争入札による効果

- ・ 工事目的物の性能、品質を向上させる。
- ・ 長寿命化・維持修繕費の縮減・施工不良の未然防止等による総合的なコストの縮減となる。
- ・ 交通渋滞対策・環境対策・安全対策等への対応が図れる。
- ・ 事業効果の早期発現等が効率的かつ適切に図れる。
- ・ 民間企業が技術力で競争することで、モチベーションの向上が図れる。
- ・ 価格以外の要素が考慮された競争が行われることによる談合等の不正防止となる。

2 総合評価方式の種類、試行方法等について

(1) 総合評価方式の種類

総合評価には「高度技術提案型」、「標準型」、「簡易型Ⅰ」及び「簡易型Ⅱ」の4方式があるが、焼津市においては、「簡易型Ⅱ」を試行する。

【簡易型Ⅱ】

技術的な工夫の余地が小さい工事を対象に、企業及び技術者の能力、企業の社会性・信頼性等を確認することが、発注者の示す仕様に基づき、適切で確実な施工を行うために必要であると見込まれる場合に適用する。

工事成績等に基づく技術力と価格との総合評価を行う。

(2) 総合評価方式の落札者の決定方法・・・除算方式

価格以外の要素を数値化した「技術評価点」（標準点）を当該入札価格で除して得た数値「評価値」が最も高い者を落札者とする除算方式を採用する。評価値の算出方法は次の式のとおり。

ア 評価値の算出式

$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札価格}} = \frac{\text{標準点} + \text{加算点}}{\text{入札価格}}$$

* 入札価格が、焼津市低入札価格調査取扱要領（以下「要領」という。）に規定する失格判断基準価格を下回った場合は、低入札価格調査の対象とせず、当該入札者を失格とし、評価値の算出は行わない。

入札価格が、要領に規定する調査基準価格を下回り、前記失格判断基準価格以上の

価格であった場合は、調査基準価格を入札価格として評価値を算出する。

イ 技術評価点の考え方

標準点：発注者の設定する仕様（最低条件）を満足する場合に100点を付与。

加算点：施工上の課題に対する技術提案等（企業の技術力、企業の能力、技術者の能力）の評価に応じて点数を付与。

※ 入札参加者を5者とした例

入札者	標準点	加算点	技術評価点 ①	入札価格 ②(万円)	評価に用いる価格 ③(万円)	評価値 ①×100/③	順位
A	100	4.0	104.0	1610	←	6.4596	1
B	100	15.0	115.0	1900	←	6.0526	3
C	100	0	100.0	1550	1600	6.2500	2
D	100	8.0	108.0	1350	—	—	失格
E	100	10.5	110.5	1850	←	5.9729	4

予 定 価 格：2000万円

調 査 基 準 価 格：1600万円

失格判断基準価格：1400万円

評価値については、少数第4位まで（第5位切り捨て）

(3) 技術評価点の設定範囲

簡易型Ⅱにおける技術評価点の加算点の上限を16点とし、15点に換算する。

(4) 評価項目の設定

評価項目		簡易型Ⅱ
企業の 能力	工事成績評定の実績	●
	同種工事の完成実績	(○)
	過去2年間の優良工事	(○)
	ISO9001若しくはISO14001又はエコアクション21の認証取得の有無	(○)
技術者の 能力	技術者の保有資格	(○)
	同種工事の完成実績	(○)
	過去2年間の優良工事の担当技術者	(○)
	継続学習(CPD・CPDS)の実績	(○)
信頼性・ 社会性	焼津市との災害協定締結の有無	(○)
	ボランティアの活動実績	(○)
	障害者の雇用状況	(○)
	主たる営業所の所在地(市外業者が参加する場合)	(○)

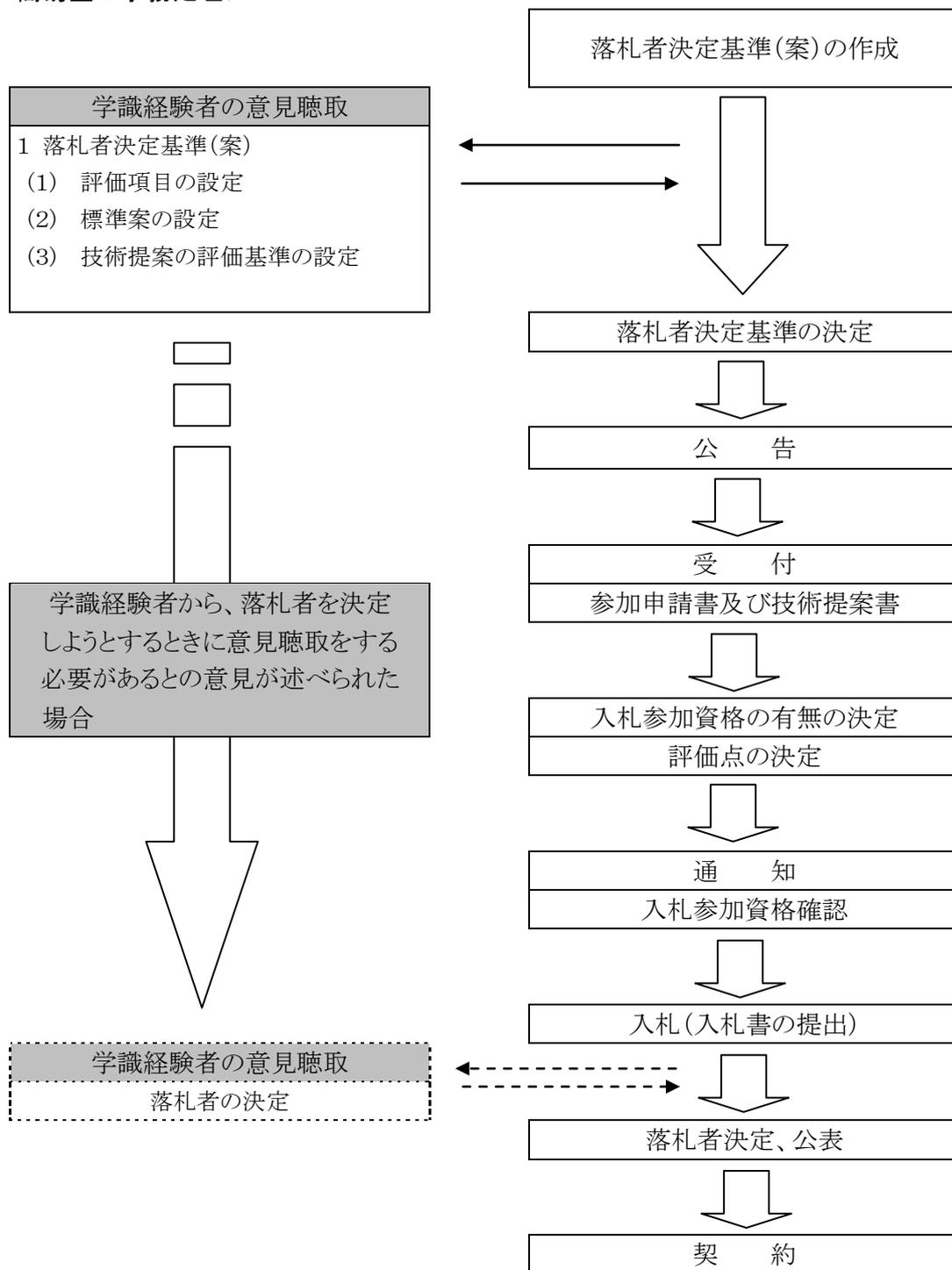
●の項目を中心に評価する。

(○)の項目については、工事の特性に応じて選択する。

ただし、同種工事の完成実績、技術者の保有資格については、入札参加資格要件としている場合には、原則選択しないものとする。

(5) 総合評価競争入札の実施手順

簡易型Ⅱ事務処理フロー



3 中立かつ公正な審査・評価の確保

(1) 学識経験者の意見聴取

地方自治法施行令の規定により、総合評価競争入札の落札者決定基準を定めるときは、発注者の恣意を排除し、中立かつ公正な審査・評価を行うため、2人以上の学識経験者から意見聴取を行う。

また、落札者を決定しようとするときに意見聴取をする必要があるとの意見が述べられた場合は、学識経験者から意見聴取を行う。

(2) 評価結果の公表

総合評価における入札者の提示した性能等の評価及び落札結果等については、記録し契約後早期に以下の事項を公表する。

- ア 業者名
- イ 各業者の入札価格
- ウ 各業者の技術評価点の合計及び内訳
- エ 各業者の評価値

4 低入札価格調査制度の適用について

総合評価競争入札では、地方自治法の規定により最低制限価格制度は適用されないことから、**焼津市低入札価格調査取扱要領に規定する低入札価格調査制度を適用する。**

【簡易型Ⅱの例】

(1) 企業の技術能力

評価項目	評価基準	配点	最大配点
平成〇・〇年度の工事成績平均点	〇〇点以上	3.0	3.0
	〇〇点以上 〇〇点未満	1.5	
	〇〇点未満	0.0	
平成〇年度以降の同種工事の施工実績	同種工事の完成実績有り	1.0	1.0
	類似工事の完成実績有り	0.5	
	完成実績無し	0	
過去2年間における当市発注優良工事	工事成績評定 成績Aの実績有り	1.0	1.0
	実績なし	0	
ISO9001 若しくは 14001 又はエコアクション 21 の認証取得の有無	取得有り	1.0	1.0
	取得無し	0	

(2) 配置予定技術者の能力

評価項目	評価基準	配点	最大配点
技術者の保有資格	1級〇〇施工管理技士	2.0	2.0
	2級〇〇施工管理技士	1.0	
	その他の資格	0	
平成〇年度以降の主任(監理)技術者の施工経験の有無	同種工事の完成実績有り	2.0	2.0
	類似工事の完成実績有り	1.0	
	完成実績無し	0	
過去2年間における優良工事担当技術者	工事成績評定 成績Aの実績有り	2.0	2.0
	実績なし	0	
継続学習の取組み状況	継続学習の証明あり(各団体推奨単位以上取得)	1.0	1.0
	証明なし又は各団体推奨単位未満の取得	0	

(3) 企業の社会性、信頼性等

評価項目	評価基準	配点	最大配点
過去〇年間のボランティア活動の実績の有無	実績有り	1.0	1.0
	実績無し	0	
障害者雇用の有無	雇用有り	1.0	1.0
	雇用無し	0	
焼津市との災害協定の締結の有無	災害協定の締結有り	1.0	1.0
	締結無し	0	

加算点 満点	16.0
換算	15.0